

議第225号

令和7年度京都市高速鉄道事業特別会計補正予算

(総則)

第1条 令和7年度京都市高速鉄道事業特別会計補正予算は、次に定めるところによる。

(資本的収入及び支出の補正)

第2条 令和7年度京都市高速鉄道事業特別会計予算（以下「予算」という。）第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

(科 目)	(既決予定額) 千円	(補正予定額) 千円	(計) 千円
第1款 資本的収入	22,138,000	58,000	22,196,000
第1項 企業債	17,874,000	29,000	17,903,000
第2項 補助金	2,887,758	17,000	2,904,758
第3項 出資金	1,275,000	12,000	1,287,000

支 出

(科 目)	(既決予定額) 千円	(補正予定額) 千円	(計) 千円
第1款 資本的支出	41,356,000	58,000	41,414,000
第1項 建設改良費	6,475,023	58,000	6,533,023

(企業債の補正)

第3条 予算第6条に定めた企業債を次のとおり補正する。

起債の目的	限度		額		起債の方法	利率	償還の方法
	既決予定額	補正予定額	計				
高速鉄道事業費	千円 5,031,000	千円 29,000	千円 5,060,000	格金回りの格をたなこ算 価面下の価額を加額 発行額をと、行減額を埋め金 発額るは、行差埋め金れした	行地団共を）費方よ 発の共の行。消の 券（他公と発むは借に 証（方体同含又貸法る。	% 8.0以内利方入資方金金は、直たて見利 だし、しり府地体資て見い該の だ直借政及び団構いの行にお当後 た見でる及公共機つ率をに、し 率式れ金公融に利し後は、直率	か間年元ののすし、合に、をが の日期40のに償還したの、は、還と 起債の置め、に、等方償還たの都て償こる。 起据含内均ののより。政のつ上るき らを以利他よる。財そよ繰すき
計	7,103,000	29,000	7,132,000				

(他会計からの補助金の補正)

第4条 予算第9条中「4,875,000千円」を「4,884,000千円」に改める。

(他会計からの出資金の補正)

第5条 予算第10条中「1,275,000千円」を「1,287,000千円」に改める。

令和8年2月16日提出

京都市長 松 井 孝 治

提案理由

建設改良に要する経費等を補正する必要があるので提案する。